

第2学年 国 語

1 学習の進め方

- (1) 「漢字スキル」を使って漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 自分の考えや友達の発言をワークシートにまとめましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 話し合いや相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 書写教材やスタディサプリなどを使って言語に関わる力を養いましょう。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ワーク、漢字スキル、ファイル
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身に付けましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) ワークやスタディサプリを使って、計画的に復習に努めましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ファイル、漢字スキルをしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) ワークで問題演習をしましょう。模範解答を必ず確認しましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるよう努めましょう。
- (5) 本文を繰り返し声に出して読み、理解を深めましょう。
- (6) 漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

5 2年生での学習内容…授業時間は、週4時間 年間140時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 広がる学びへ	10月	5 論理を捉えて
5月	1 広がる学びへ 2 多様な視点から	11月	6 いにしへの心を訪ねる
6月	2 多様な視点から	12月	7 価値を語る
7月	3 言葉と向き合う いつも本はそばに	1月	7 価値を語る
8月		2月	8 表現を見つめる
9月	4 人間のきずな	3月	8 表現を見つめる

※上記以外に書写の授業があります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。
(定期考査、漢字テスト、書写等)

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。
(発表、スピーチ、聞き取りテスト等)
B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。
(定期考査、ワークシート、作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。
(定期考査、ワークシート等)

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。
(定期考査、提出物の提出状況・内容、ワークシート等)

第2学年 社会科

1 担当教員

野嶋 航希

2 学習の進め方

- (1) 2年生では地理・歴史、3年生で公民を学習する。
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する。
- (3) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける。
- (4) 状況に応じて単元テストを実施する。

3 学習(授業)上の注意点

- (1) 授業プリントを配布して授業を行う。配られたプリントはファイルに閉じ、無くさないように保管しましょう。
- (2) プリントには板書したこと及び、説明の中で必要と思われることをメモしてください。
- (3) 話し合い活動には積極的に参加しましょう。
- (4) グループ活動や単元テストでは Chromebook を使用します。毎回しっかりと充電しておきましょう。

4 家庭学習の進め方

- (1) 授業内で書いたプリントと教科書を照らし合わせて復習し、ワークの問題で確認する。
- (2) 予習をする場合は、教科書をよく読んでおく。
- (3) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見ておきましょう。
- (4) タブレットのスタディサプリも復習で活用してください。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) プリントと教科書を照らし合わせ振り返りましょう。ワークなどで問題をたくさん解きましょう。
- (2) 用語や地名などを暗記するだけでなく、それぞれの単元について説明できるように、理解していくことを心がけましょう。
- (3) 学習したことを誰かに説明できることを目標にしてください。

6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、単元テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、単元テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学んだことをいかし、活用できている。また、学びを通じて自己調整を計り、粘り強く学習に取り組もうとしている。

(評価材料) 定期考査、単元テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

7 2年生での学習内容(授業時間は、週3時間、年間105時間)

月	学習内容	月	学習内容
4月	地理 ・日本のさまざまな地域 地理的な日本の特色 歴史 ・大航海時代	10月	地理 ・日本の様々な地域 中国・四国地方・関東地方 歴史 ・欧米諸国の近代化
5月	地理 ・日本の様々な地域 地理的な日本の特色 歴史 ・安土桃山時代	11月	地理 ・日本の様々な地域 近畿地方・中部地方の特色 歴史 ・欧米諸国の近代化
6月	地理 ・日本の様々な地域 九州地方・北海道地方 歴史 ・江戸時代	12月	地理 ・日本の様々な地域 近畿地方・中部地方の特色 歴史 ・明治維新
7月	地理 ・日本の様々な地域 九州地方・北海道地方 歴史 ・江戸時代	1月	地理 ・日本の様々な地域 東北地方の特色 歴史 ・明治時代
8月	夏休みの課題 ※未定	2月	地理 ・日本の様々な地域 東北地方の特色 歴史 ・明治時代
9月	地理 ・日本の様々な地域 中国・四国地方・関東地方 歴史 ・江戸時代	3月	歴史 ・大正時代

第2学年 数 学

数学の授業は、週3時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

1 学習の進め方

1時間の中にできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) メモをするところはしっかりメモし、考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切にす。必ずやり直す。

3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 式の計算	10月	第4章 平行と合同
5月	第1章 式の計算	11月	第4章 平行と合同
6月	第2章 連立方程式	12月	第5章 三角形と四角形
7月	第2章 連立方程式 第3章 1次関数	1月	第5章 三角形と四角形
8月	夏休みのため 授業なし	2月	第6章 確率
9月	第3章 1次関数	3月	第7章 四分位範囲と箱ひげ図 1年間のまとめ

6 評価・評定について

- (1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することがで きるか。	先を読む力、根拠を説明す る力など身に着けている か。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としてい るか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆ワーク ☆提出物 ☆テスト振り返り

- (2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

7 その他

- (1) 長期休業中等に状況に応じて補充教室を行います。

第2学年 理科

1 担当教員

前田 圭介（週3時間）

中村 剛（週1時間）

2 学習の進め方

- (1) 【単元1】「化学変化と原子・分子」（化学分野）
- (2) 【単元2】「生物のからだのつくりとはたらき」（生物分野）
- (3) 【単元3】「天気とその変化」（地学分野）
- (4) 【単元4】「電気の世界」（物学分野）

3 持ち物について

- (1) 教科書、ノート、理科便覧、ファイル、のりはいつも用意してください。
(5点セット)
- (2) 教材はすべてロッカーに置いておいてOKです

4 授業では…

- (1) 話をよく聞き、板書以外にメモをとりましょう。
- (2) 授業で配られる実験観察プリントは基本的に「すべてノートに貼る」です。
貼り方などは、授業で指示をします。
- (3) 実験室を使用するときは、使用上の注意にしたがってください。また、実験・観察ごとに薬品や実験器具・装置の使い方などの注意があるので、しっかりと確認をしていきましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をしましょう。
(授業中に質問できないときは、授業後や昼休み、放課後を利用する。)

5 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、教科書の予習をする必要はありませんが、実験の前などは、実験の方法などを読んできてもらうときもあります。
- (2) 授業の復習が大事です。教科書をよく読み返し、ノートやプリントを見直したり、問題を解く練習などをしたりしましょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。

6 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しましょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめましょう。
- (3) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。
- (4) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

7 評価について

- 主体的に学習に取り組む態度 ●思考・判断・表現 ●知識・技能
- 3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。
A…80%以上達成 B…50%～80%未満達成 C…50%未満達成
- その後、これらの観点から5段階で評定をつけます
5…達成度90%以上 4…達成度80%～90%未満
3…達成度50%～80%未満 2…達成度20%～50%未満 1…達成度20%未満

〈実験プリントの評価例〉 S→7点 A→5点 B→3点 C→1点
未提出→0点

- 主体的に学習に取り組む態度
・自ら学習に粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしているか。
～評価材料～①授業態度や実験の取り組みのようす
②授業ノート
③実験プリント、レポート課題
④提出物の取り組み状況
- 思考・判断・表現
・実験や観察した結果を自ら分析し、わかりやすく表現することができるか。
～評価材料～①実験プリント、レポート課題
②定期テスト、小テスト
- 知識・技能
・基本的な科学的な概念や法則を理解しているか。
・実験器具を正しく、安全に使うことができるか。
・実験や観察の結果などの情報を丁寧に記録、整理し、活用することができるか。
～評価材料～①実験プリント、レポート課題
②定期テスト、小テスト
③実技テスト

第2学年 音楽

1 学習の進め方（歌唱の題材例）

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）
- (4) ワークシート記入
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜やワークシートにしっかりメモをしましょう。
- (4) ワークシートや教科書の内容、わからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 授業時間内に未完成な部分は宿題となります。提出物は期日を守りましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的にワークシートの内容や教科書に書いてあることを出題するため、配布されたワークシート等は紛失しないように管理しましょう。
- (2) 音楽記号や語句は正確に覚えられるようにしましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 2年生での学習内容（授業時間 週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：夏の思い出 実技テスト（夏の思い出）	10月	歌唱：混声三部合唱（課題曲、各クラスの自由曲） 実技テスト（課題曲）
5月	鑑賞：フーガト短調 創作：二部形式の旋律創作	11月	器楽：三味線 実技テスト（三味線）
6月	器楽：ギター（旋律演奏） 実技テスト（ギター）	12月	鑑賞：歌舞伎「勧進帳」
7月	歌唱：混声三部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	1月	鑑賞：交響曲第五番ハ短調
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：花の街 実技テスト（花の街）
9月	歌唱：混声三部合唱（課題曲、各クラスの自由曲）	3月	歌唱：混声三部合唱（離任式の曲）

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

- 定期テスト
- 実技テスト（姿勢・発声・発音・音色などの歌や楽器に必要な技能）
- 創作作品
- 提出物（ワークシート）

観点2 【思考・判断・表現】

- 定期テスト
- 提出物（ワークシート）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- 授業への取り組み（ワークシート）
- 提出物（ワークシート、振り返りカードなど）

第2学年 美術

1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける。
- (2) アイデアをたくさん練る。
- (3) 制作の順序を考え、見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 教室に忘れ物をしない。（授業中は取りに行きません）
- (2) 既存のデザインには頼らない。
- (3) チャイム前に授業準備をする。（物の貸し借りは禁止）
- (4) 人の作品を手伝わない、手伝ってもらわない。
- (5) 隙間時間を活用する。（スキマ課題）
- (6) 美術の道具一式を持ち帰るのは長期休暇期間のみ。

3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに興味を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に活かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) テスト対策プリント内容の確認。（道具は持ち帰らない）
- (2) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (3) 範囲として指定されずその場で考える問題は、落ち着いて問題をよく見てよく考える。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	オリエンテーション 一点透視図法・人体のバランス	10月	立体：立体文字
5月	モダンテクニック 鑑賞：自画像	11月	立体：立体文字
6月	絵画：宇宙のかなたに行ってみた	12月	立体：立体文字
7月	絵画：宇宙のかなたに行ってみた	1月	鑑賞：12か月の和菓子 立体：和菓子
8月	夏休みのため 授業なし	2月	立体：和菓子
9月	鑑賞：立体作品 立体：立体文字	3月	鑑賞・デザイン：広告

6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 ・定期テスト
・作品
・ワークシート

観点2 ・定期テスト
・アイデア
・作品
・ワークシート

観点3 ・定期テスト
・作品制作過程、提出
・授業への取り組み
・作品完成シート

第2学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。また、種目に応じて主運動に繋がる準備運動をします。
- (2) 集団行動を繰り返し行い、正しい整列や挨拶をできるようにします。
- (3) 小集団でのグループ学習で話し合い活動やアクティブラーニングを中心に進めます。
- (4) 必要に応じて学習カードやクロームブックを活用します。
- (5) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) めあてを理解し、その達成に向けて取り組みましょう。
- (3) 用具の準備や片付け、環境整備をきちんと行いましょう。
- (4) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (5) 学習した知識や技術を活用して考えたり話し合ったりしましょう。
- (6) 自分や仲間の動きを確認し、良い点や改善点について指摘できるようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 授業で学習したことの振り返り。
- (2) 映像を確認して、正しいフォームやポイントを押さえる。
- (3) 技術のポイントの確認。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) プリントの見直しや復習プリントの確認をしましょう。
- (2) ルールや用具、安全上の留意点を記述できるようにしましょう。
- (3) 種目のルールや特性について、具体的に記述できるようにしましょう。
- (4) 動きのポイントやつまずき、改善策について、具体的に記述できるようにしましょう。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技、体づくり運動	10月	器械運動、走高跳び
5月	陸上競技	11月	バレーボール、保健
6月	体づくり運動、水泳、保健	12月	バスケットボール
7月	水泳	1月	ハンドボール
8月	夏休みのため 授業なし	2月	柔道
9月	ソフトボール	3月	ダンス

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

(評価材料) *技能テスト *ゲーム内評価 *単元テスト *定期考査

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

(評価材料) *授業中の動き及び発言 *レポート *単元テスト *定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

(評価材料) *授業中の動き及び発言 *レポート *単元テスト *定期考査

第2学年 技術家庭（技術分野）

1 担当教員 須澤 浩一

2 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

3 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入しましょう。プリントは基本的に毎回提出ですが提出しない場合もあります。いつでも提出できるようにしておいてください。
- ・ プリントは各自クリアファイルを準備し必ずファイルします。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

4 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 期末考査、学年末考査の範囲の教科書、授業プリントを中心に学習しましょう。

6 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【材料と加工の技術】2×4材で家具を作る（椅子の製作）	10月	1-3 電気の利用 作品製作ダイナモラジオ”フレア”
5月	【B エネルギー変換の技術】1-4 力の伝達作品製作 マジックハンド	11月	作品製作ダイナモラジオ”フレア”
6月	作品製作 マジックハンド	12月	作品製作ダイナモラジオ”フレア”
7月	マジックハンド製作マニュアル作成 製作品の評価	1月	作品製作ダイナモラジオ”フレア”
8月	夏休みのため 授業なし	2月	ダイナモラジオ”フレア”製作マニュアル作成 製作品の評価
9月	1-1 生活やエネルギー変換の技術 1-2 エネルギー資源の利用	3月	製作品の評価 <学習発表会>

7 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

*期末考査 *学年末考査 *製作品完成度

観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

*授業プリントの記入内容 *製作過程 *製作進捗状況

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

*授業プリントの記入内容 *授業態度

8 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第二学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は教室で行いますが、授業内容によっては被服室で行う場合もあります。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書し、先生の話聞いてメモをします。
- ・グループで個人の意見を共有し、発表します。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や着席しておく。
- ・授業は私語をせずに集中して取り組む。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業ワークシートを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートを中心に、教科書を復習する。
- ・実習内容を復習する。

5 2年生での学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4 ～ 7 月	1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしいコーディネート ③和服の文化 ④衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 ①繊維に応じた衣服の手入れ ②洗濯の方法 ③補修や収納、保管	1～ 3月	1. 私たちの消費生活 ①消費者としての自覚を持つ ②販売方法と支払い方法について知ろう ③商品の選択と購入について ④消費者トラブルを解決する方法を考えよう ⑤消費者の権利と責任について考えよう ⑥よりよい消費生活を目指して 2. 環境に配慮した消費生活 ①エネルギー消費を減らす方法を考えよう ①持続可能な社会を目指そう 学習のまとめ
9 ～ 12 月	3. 生活を豊かにするものの製作 ①布による作品製作（ペンケース） ②製作の基礎・手縫い、ミシン 4. 持続可能な衣生活 学習のまとめ		

6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

* 定期考査、実技テスト、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

観点2 【思考・判断・表現】

* 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- * 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- * ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

第2学年 外国語(英語)

0 担当教員

北見まり子、秋野 颯、平瀬 亮子、菅野 圭汰、ホリ ウィルミライザ(ALT:リサ先生)

1 学習の進め方

- (1) 授業のスタートは「帯学習(Quizlet、ロイロノートのクイズ、動詞のインプット、すらすら英会話など、毎回短時間くり返し行う学習)」を行います。
- (2) 授業は教科書、ワークシート、エイゴラボ、Chromebook(ロイロノート、Quizlette)を活用して、たくさんの活動を行います。
- (3) 「話す」「聞く」「書く」「読む」活動(トレーニング)に積極的に取り組みましょう。

2 学習(授業)上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に活動に取り組みましょう。
- (2) 間違いを恐れず、大きな声で、はっきりと発言しましょう。
- (3) 友達の使う英語もよく聞いて、多くを吸収し、たくさん英語を使えるようにしていきましょう。
- (4) 忘れ物をしないように、気をつけましょう。

持ち物:教科書、Benjamin、A4 ファイル、エイゴラボ(ミニラボ)、読みトレ、のり、Chromebook、
自習学習用の15段のノート

「いつも通り」と言われたら、二重線下線が引いてある7点セットのことです。Benjamin とエイゴラボはワークシートの記述を参考に持ち帰り、自宅でも学習しましょう。Chromebook はいつでも使えるようにしておきましょう。

3 家庭学習の進め方 ※皆さんの力を一番伸ばせるのが「家庭での繰り返し学習」です。

- (1) 授業の復習を中心に、音読をたくさんやりましょう。(根気強くやりましょう。)リスニングカアアップへの近道です。正しい発音・イントネーションを意識しましょう。意識せずに口・舌が動くようになるまで繰り返し、暗記してしまうぐらい読み込みましょう。
※ロイロノートの課題の範読を繰り返し聞き、たくさん真似して発音しましょう。録音した自分の発音をよく聞いて、ベストのものを提出しましょう。
- (2) 出された課題(音読やエイゴラボ、Benjamin 等)は必ずやりましょう。
- (3) 単語はまず音で覚えましょう。ミニラボの Vocabulary にある英文を音読し、赤シートで隠しても言えるか、読んで意味を言えるかの確認をしてみましょう。言えるようになったら自主学ノートに発音しながら書いて、何度も練習しましょう。
- (4) 英語は細かく日本語に訳したりせず、ジェスチャー・場面・動きなどイメージで理解しましょう。
- (5) スタディサプリを活用し、自分のレベルに合わせて、1年生で学習した文法を復習していきましょう。したり、2年生の内容の補充学習をしたりしましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 暗唱するくらい、教科書本文の音読をたくさんしましょう。
- (2) エイゴラボや授業のワークシート、ロイロクイズで間違えたところは、自習学習用ノートに間違いがなくなるまで繰り返し取り組みましょう。

5 2年生での学習内容 (授業時間は、週4時間 年間140時間)

月	学習内容	月	学習内容
4月	Unit 0 Unit 1	10月	Unit 5 Real Life English 5
5月	Unit 2 Real Life English 1 Real Life English 2	11月	Unit 6 Real Life English 6 期末テスト
6月	Unit 3 Real Life English 3 期末テスト	12月	Stage Activity 2 Let's Read 2
7月	Stage Activity 1 Let's Read 1	1月	Unit 7 Real Life English 7
8月		2月	Stage Activity 3 期末テスト
9月	Unit 4 Real Life English 4 中間テスト	3月	Let's Read 3

6 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。

評定とは、この3観点の総合評価で、1~5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 <知識・技能>

定期テスト、パフォーマンステスト(スピーキング、スピーチ、音読など)、リスニングテスト、小テスト、課題テスト、提出物

観点2 <思考・判断・表現>

定期テスト、提出物、パフォーマンステスト、リスニングテスト、小テスト、課題テスト、復習テスト

観点3 <主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、提出物、パフォーマンステスト、小テスト、課題テスト、復習テスト

7 備考(注意事項)

○提出物は提出期日を守り、遅れずに提出しましょう。

欠席・出席停止中など提出日に事情がある場合は、登校した初日に提出してください。

また、提出日に提出できない理由がある場合は、必ず先生に申し出て、指示を受けてください。

○ワークシート

B5 のワークシートは、必ず Benjamin に貼りましょう。A4 のプリントはファイルに保管します。

欠席した際は授業プリントを必ずもらいましょう。少人数で授業を行うため、自分の席にプリントは入っていないことがあります。提出物や小テスト等にかかわるものが配布されることもあります。必ずしっかり確認し、プリントの抜けがないようにしましょう。

○エイゴラボ

丸つけをして、提出します。間違えたところは赤で訂正します。丸つけがぬけたり、やっていないところがあったりしないよう、授業の進度にあわせて計画的に進めていきましょう。提出日は英語の試験日に一斉に提出です。(最終 16:00 まで) 試験範囲表や授業内でお知らせします。

8 小テスト

過去形テストは引き続き行っていきます。他にも単語テストや過去分詞のテストなどを行う予定です。

9 課題テスト

夏休み、冬休み明けにそれぞれテストを予定しています。

10 リスニングテスト

Unit ごとのテストや、定期テストでのリスニングテストを予定しています。

11 パフォーマンステスト

ALT と評価するものや、担当の先生が評価するものがあります。

今年は音読やすらすら英会話、発表などのテストを予定しています。その都度連絡をします。